

令和3年度

事業計画及び  
収支予算書

一般財団法人 静岡市動物園協会



一般財団法人静岡市動物園協会  
令和3年度 事業計画  
(令和3年4月1日～4年3月31日)

I. 運営方針

静岡市動物園協会は、定款第3条で「非営利の一般財団法人として、静岡市及び関係諸団体との協働及び連携により、動物園事業の発展振興を図り、併せて動物の愛護思想の普及により、地域社会の健全な発展に寄与し、豊かな人間性を涵養すること」を目的としており、これに基づき動物園に係る教育普及・イベントの推進（公益目的事業）、園内管理業務の受託（受託事業）、物品・飲食物の販売（収益事業）を行っています。

本協会は、公益法人制度改革により、平成23年度に財団法人から一般財団法人（移行法人）となり、移行するために策定した公益目的支出計画が平成30年度に完了したことから、令和元年度に正式な一般財団法人として認可されました。

また、静岡市の外郭団体として、市が団体に求める役割（パートナー）を果たし、健全で安定的な経営基盤を確立するため、平成30年度に経営計画（令和元年度～4年度）を策定し、事業評価を毎年度実施し、目標達成に向けて取り組んでいます。

本年度の事業計画については、前年からのコロナ禍により経営を取り巻く環境が依然として厳しい中、経営計画に基づき、公益目的支出計画完了後の公益目的事業の推進、受託事業の的確な実施と利用者満足度の向上、収益事業の収益増及び各事業の経費縮減に取り組むこととし、協会に求められる役割を確実に果たし、経営状況の改善を図ります。

II. 協会の組織

協会は、法令や定款に基づき、議決・監督、執行、監査の3つの機関から構成されており、その組織及び主な役割は次のとおり。

機関名	組織名	主な役割
議決・監督機関	評議員会	評議員・理事・監事の選任及び解任、決算の承認、定款の変更
執行機関	理事会	業務執行の決定、理事の職務執行の監督、理事長の選定及び解職、事業計画・予算の承認
	理事長	協会の代表、業務の執行
	事務局	事務の処理
監査機関	監事	理事の職務執行の監査、事業報告等の監査

### III. 事業計画

#### 1. 公益目的事業（実施事業等会計ほか）

動物園やボランティア団体と協働、連携し、動物園事業の発展振興、動物の愛護思想の普及を図るため、次の各種事業を実施する。

##### (1) 教育普及事業

子どもへの教育だけでなく、生涯教育の観点から、大人にも動物愛護の精神を育むとともに、命の大切さを学ぶ情操教育、自然を守る環境教育を実施する。

##### ① めざせ！動物園博士

動物への理解促進イベントとして、クイズ形式による入門コース及び専門コースを実施するとともに、日本平動物園学会を開催し、動物へのより一層の理解促進を図る。

区 分	内 容	実施予定	令和2年度実績
入門コース	初心者を対象とした入門コースで、園内を周回するクイズラリー形式で実施。参加者の動物への理解を深める。	2回	(中止)
専門コース (4コース)	入門コース修了者を対象に、より専門的な知識を身に付けるため4種類の専門コースを実施。4コース修了者を動物園博士として認定。	各1回 (計4回)	3回(見込み) 参加 延37名 認定 6名
日本平動物園学会	動物園博士認定者を対象に、専門講座を開催し、将来のガイドボランティアの育成を図る。	1回	(中止)

##### ② 動物園親子教室

幼児(年中・年長)と保護者を対象に、動物クイズや工作を実施し、幼児期における動物を通じた情操教育を推進する。(毎月第4日曜日に開催)

区分	時期	テーマの動物(予定)	実施予定	令和2年度実績
第1回	10, 11月	レッサーパンダ	1班(偶数月)	(中止)
2	12, 1月	ペンギン	2班(奇数月)	
3	2, 3月	ホッキョクグマ	各10組 20名	

##### ③ ツアーガイド

学校団体等からの申込みに対し、ボランティアガイドが、動物の解説をしながら園内を回り、動物園について学び、理解を深めてもらう。(平日に実施)

コース名	内 容	実施予定	令和2年度実績
わくわくコース (小学生対象)	動物園や動物について学ぶ。	1グループ(5名以内)にガイド1名 ※最大10グループ 50名程度まで	(中止)
ドキドキコース (中学生対象)	動物園や動物について、少し掘り下げて学ぶ。		(中止)
フリーコース (一般対象)	動物園や動物について、いろいろな角度から観る。		参加 7組 390名

④ ふれあい動物園（動物園事業の支援、土日祝に実施）  
飼育員やボランティアとの協働により、ウサギ・モルモット・ヒヨコ等の小動物とのふれあいなどを実施し、それらを通じて命の大切さを学ぶ情操教育の推進に資する。

⑤ 学びプロジェクト（教育機関との連携）  
教育機関に、動物に関する知識や教材、体験の機会を広く提供することで、命のつながり、人と自然とのつながりなどを実感し、学びを広め深めてもらう。

具体的な取り組みとしては、地域の教育機関（静岡市立東豊田小学校、東豊田中央こども園など）に対し、小学校5年生による動物園でのスポットガイドの支援やこども園へのミニツアーガイド、出張講話等を実施する。

(2) イベント推進事業

動物園に求められる役割の一つとしてレクリエーション機能があり、協会では、来園者に園内で楽しく過ごしていただくため、動物園との協働により、年間を通して様々なイベントを実施する。

① 年間を通じたイベント

時 期	園主催事業	協会関連事業
3月～4月	春の動物園まつり	(中止のため、なし)
6月	梅雨の日イベント	オリジナル・レインコート等の貸出
7月	七夕イベント	七夕飾り
7月～8月	夏の動物園まつり	動物クラフト、8/1 開園記念日
9月	夜の動物園	毎土曜日の夜間開園（17：30～21：00）
10月～11月	秋の動物園まつり	動物クラフト
12月	クリスマスフェス	動物クラフト
1月	お正月イベント	動物園カレンダー、干支の置物の配布

② その他のイベント

公益目的事業に資するとともに、動物園及び協会が進める集客力の向上等を図るため、前述のイベント以外にも、協会業務に関連したイベントや企画等の実施に向けた取り組みを行う。

入園者増対策イベント・企画

イベント・企画名	内 容
雨の日・平日来園者プレゼント	雨の日や平日の来園者にポイントカードを配布し、取得ポイントに応じオリジナルグッズをプレゼント
年間パスポート購入者プレゼント	年間パスポート購入者（大人2,510円）に、パスケースとストラップをプレゼント
子育て応援イベント	来園した親子（未就学児）に特製缶バッジをプレゼントし、缶バッジを付けて再来園したらノベルティをプレゼント

(3) 市民団体等の育成及び協働事業

動物園における愛護教育・環境教育の充実を図るうえで、ボランティア等の市民団体の役割は大きく、その窓口を担っている協会では、ボランティアの確保・育成と市民団体との協働事業の実施を推進していく。

① 日本平動物園ガイドボランティア

約 100 名が登録し、5 つの班と事務局で構成され、協会とともに、園内ガイド、ふれあい支援、動物園親子教室、ツアーガイド、動物園博士などの活動を行っている。

ボランティアの確保・育成のため、新人研修（年 1 回）や養成講座を実施するとともに、運営に係る総会（年 1 回）や企画等に係る全体会議（毎月）を開催する。

② 花のボランティア活動

レストハウス、エントランス、山頂の花壇の手入れ、苗植え等（毎月第 1・3 火曜日）

③ 一般社団法人静岡市造園緑化協会との協働事業

季節の花々の植栽等（年 3 回）

(4) シティプロモーション事業

静岡市では、市内外に向けて、国内で唯一、日本全国のレッサーパンダの血統管理を行っている当園を、「レッサーパンダの聖地」として、その取り組みを積極的に PR し、市の魅力を発信している。

また、動物園では、開園 50 周年記念の公式キャラクター「レッパーくん」を製作し、イベントでの PR や啓発に活用しており、協会においても、オリジナル缶バッジやキーホルダー等の関連グッズを販売している。

シティプロモーション事業は、動物園の安定した集客力を確保し、動物園事業の持続的な発展を図っていくうえで重要であることから、協会では、今後も動物園と連携して、ホームページや SNS 等を活用し、イベントや魅力的なオリジナルグッズの紹介のほか、園内の動物カレンダーの作成・配布など、積極的な情報発信に努めていく。

## 2. 受託事業（その他会計1）

静岡市から、「静岡市立日本平動物園園内管理業務」「静岡市立日本平動物園入園料等徴収事務及び寄付金等収納事務」を受託し、仕様書に基づき受託事業として下表のとおり実施する。

この事業では、動物園内各施設を適切に管理するとともに、来園者の安全確保に努め、常に接客サービスの向上を図るなど、快適に楽しんでいただける環境の整備に取り組む。

	項 目	内 容
園 内 管 理 業 務	(1) 入園者に対する売改札及び案内業務 (正門、東門、情報コーナー)	①入園券の交付に関する事 ②入園券の改札に関する事 ③条例に基づく入園の拒否及び退園の命令に関する事 ④入園等の案内に関する事（園内放送及び遺失物等を含む）
	(2) 駐車場の運営 (エントランス、第1～4、臨時駐車場)	①駐車場施設の保全・管理に関する事 ②条例に基づく駐車拒否に関する事 ③駐車場への誘導・整理に関する事 ④駐車票の交付に関する事 ⑤駐車中の車両の監視に関する事 ⑥駐車場の車両の損害保険に関する事
	(3) 遊戯施設の運営 (オートチェアー、ローラースライダー、大型遊具、自動遊具)	①遊戯施設の運転に関する事 ②遊戯施設の維持・保全に関する事 ③使用券の交付に関する事 ④使用券の改札に関する事 ⑤遊戯施設を利用しようとする者の指導・監督に関する事 ⑥利用により生じた人身事故の損害保険に関する事
	(4) 動物園内の清掃業務 (動物収容施設を除く)	①日常的な清掃（園路、広場、各施設、休憩所、園内道路、駐車場、遊園地、トイレ） ②定期的な清掃（ワックスがけ）
	(5) 入園者誘致にかかる各種事業の実施	①各種イベント・来園者サービスに関する事 ②団体客受入（予約確認）をする事 ③渋滞緩和対策に関する事 ④ゴミの分別・禁煙の啓発等に関する事 など
徴 収 事 務	入園料等徴収事務、寄付金等収納事務	①入園等の確認（入園券、入園料等減額・免除申請書、遊具券、駐車票、寄付金等） ②入園料等の徴収及び寄付金の市への収納

### 3. 収益事業（その他会計2）

動物園のレクリエーション機能の充実を図るため、園内における物販及び飲食等のサービス事業を実施する。事業運営によって得られた収益については、公益目的事業として実施している教育普及事業等の財源とすることで、広く市民及び利用者還元する。

また、経営計画（令和元年度～4年度）の経営面における目標である、収支の改善、黒字化を実現するため、魅力ある商品開発、効果的な情報発信、経費削減の徹底などにより、収益事業の収益増に向け積極的に取り組む。

区 分	名 称	内 容	場 所	設置
売店事業収入	ショップ「動物たちの森1」 ショップ「動物たちの森2」 ショップ「バード・ソング」 ショップ「ふれあい動物園前」 ショップ「展望360」 臨時売店（イベント実施時）	グッズ、軽食 グッズ 軽食 グッズ 軽食 グッズ	エントランス内 " 外 レストハウス前 " 併設 山頂広場	6所
食堂事業収入	レストハウス	食事	ふれあい動物園前	1所
移動販売車等 販売手数料	移動販売車	軽食	エントランス内、 遊園地前	5台
その他の収入	ベビーカー貸出 双眼鏡貸出 プリクラ機 コインロッカー ガチャガチャ機 ガイドマシン（動物説明機） 望遠鏡 自動遊具		正面、東門入口 情報コーナー エントランス " 第1売店前 園内各所 山頂広場 遊園地内	2所 1所 1台 1所 1所 13台 4台 13台



# 収支予算書内訳表

令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その他会計			法人会計	内部取引控除	合 計
		他1(受託事業)	他2(収益事業)	共通			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
特定資産運用益	50,000	20,000	20,000	0	5,000	0	95,000
特定資産受取利息	50,000	20,000	20,000	0	5,000	0	95,000
事業収益	250,000	180,355,000	169,533,000	0	0	0	350,138,000
教育普及事業収益	250,000	0	0	0	0	0	250,000
静岡市からの受託料収益	0	180,355,000	0	0	0	0	180,355,000
販売事業収益	0	0	164,376,000	0	0	0	164,376,000
売店事業収益	0	0	120,816,000	0	0	0	120,816,000
食堂事業収益	0	0	38,973,000	0	0	0	38,973,000
移動販売車等収益	0	0	4,587,000	0	0	0	4,587,000
その他の事業収益	0	0	5,157,000	0	0	0	5,157,000
その他の収益	0	0	5,157,000	0	0	0	5,157,000
雑収益	335,000	20,000	510,000	0	381,000	0	1,246,000
受取利息	5,000	0	20,000	0	5,000	0	30,000
雑収益	330,000	20,000	490,000	0	376,000	0	1,216,000
経常収益計	635,000	180,395,000	170,063,000	0	386,000	0	351,479,000
(2) 経常費用							
事業費	5,379,000	0	0	0	0	0	5,379,000
役員報酬	542,000	0	0	0	0	0	542,000
職員給料	1,501,000	0	0	0	0	0	1,501,000
諸手当	1,071,000	0	0	0	0	0	1,071,000
退職給付費用	382,000	0	0	0	0	0	382,000
福利厚生費	508,000	0	0	0	0	0	508,000
旅費研修費	15,000	0	0	0	0	0	15,000
通信運搬費	58,000	0	0	0	0	0	58,000
広報伝費	73,000	0	0	0	0	0	73,000
会議費	13,000	0	0	0	0	0	13,000
消耗什器備品費	54,000	0	0	0	0	0	54,000
消耗品費	164,000	0	0	0	0	0	164,000
被服費	38,000	0	0	0	0	0	38,000
光熱水費	37,000	0	0	0	0	0	37,000
修繕費	4,000	0	0	0	0	0	4,000
印刷製本費	30,000	0	0	0	0	0	30,000
賃借料	96,000	0	0	0	0	0	96,000

# 収支予算書内訳表

令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで

科 目	実施事業等会計		その他会計			法人会計	内部取引控除	合 計
			共 通		小 計			
	他1(受託事業)	他2(収益事業)						
保険料	175,000	0	0	0	0	0	0	175,000
諸謝金	89,000	0	0	0	0	0	0	89,000
租税公課	13,000	0	0	0	0	0	0	13,000
支払負担金	275,000	0	0	0	0	0	0	275,000
支払手数料	6,000	0	0	0	0	0	0	6,000
委託費	224,000	0	0	0	0	0	0	224,000
雑費	11,000	0	0	0	0	0	0	11,000
受託事業費	0	176,573,000	0	0	0	0	0	176,573,000
役員報酬	0	3,522,000	0	0	0	0	0	3,522,000
職員給料	0	69,069,000	0	0	0	0	0	69,069,000
諸手当	0	46,693,000	0	0	0	0	0	46,693,000
臨時雇賃金	0	8,543,000	0	0	0	0	0	8,543,000
退職給付費用	0	3,600,000	0	0	0	0	0	3,600,000
福利厚生費	0	19,682,000	0	0	0	0	0	19,682,000
諸謝金	0	514,000	0	0	0	0	0	514,000
旅費研修費	0	57,000	0	0	0	0	0	57,000
減価償却費	0	117,000	0	0	0	0	0	117,000
消耗什器備品費	0	224,000	0	0	0	0	0	224,000
消耗品費	0	2,837,000	0	0	0	0	0	2,837,000
通信運搬費	0	207,000	0	0	0	0	0	207,000
被服費	0	272,000	0	0	0	0	0	272,000
広報宣伝費	0	315,000	0	0	0	0	0	315,000
燃料費	0	278,000	0	0	0	0	0	278,000
消耗工具費	0	13,000	0	0	0	0	0	13,000
修繕費	0	575,000	0	0	0	0	0	575,000
印刷製本費	0	146,000	0	0	0	0	0	146,000
保険料	0	846,000	0	0	0	0	0	846,000
支払手数料	0	617,000	0	0	0	0	0	617,000
支払負担金	0	120,000	0	0	0	0	0	120,000
貸借料	0	625,000	0	0	0	0	0	625,000
委託費	0	1,465,000	0	0	0	0	0	1,465,000
会議費	0	20,000	0	0	0	0	0	20,000
租税公課	0	15,791,000	0	0	0	0	0	15,791,000
光熱水費	0	241,000	0	0	0	0	0	241,000
雑費	0	184,000	0	0	0	0	0	184,000
営業費	0	0	93,553,000	0	0	0	0	93,553,000
売店費	0	0	69,790,000	0	0	0	0	69,790,000

(単位:円)

# 収支予算書内訳表

令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで

科 目	実施事業等会計	その他会計				法人会計	内部取引控除	合 計
		他1(受託事業)	他2(収益事業)		小 計			
			共通					
売店商品費	0	0	66,534,000	0	66,534,000	0	66,534,000	
売店光熱水費	0	0	1,146,000	0	1,146,000	0	1,146,000	
売店賃借料	0	0	553,000	0	553,000	0	553,000	
売店雑費	0	0	1,557,000	0	1,557,000	0	1,557,000	
食堂費	0	0	23,763,000	0	23,763,000	0	23,763,000	
食堂材料費	0	0	16,280,000	0	16,280,000	0	16,280,000	
食堂光熱水費	0	0	4,496,000	0	4,496,000	0	4,496,000	
食堂賃借料	0	0	1,636,000	0	1,636,000	0	1,636,000	
食堂雑費	0	0	1,351,000	0	1,351,000	0	1,351,000	
営業管理費	0	0	69,526,000	0	69,526,000	0	69,526,000	
役員報酬	0	0	1,084,000	0	1,084,000	0	1,084,000	
職員給料	0	0	22,502,000	0	22,502,000	0	22,502,000	
諸手当	0	0	15,686,000	0	15,686,000	0	15,686,000	
臨時雇賃金	0	0	9,894,000	0	9,894,000	0	9,894,000	
退職給付費用	0	0	852,000	0	852,000	0	852,000	
福利厚生費	0	0	6,504,000	0	6,504,000	0	6,504,000	
旅費研修費	0	0	118,000	0	118,000	0	118,000	
通信運搬費	0	0	143,000	0	143,000	0	143,000	
広報宣伝費	0	0	97,000	0	97,000	0	97,000	
減価償却費	0	0	1,335,000	0	1,335,000	0	1,335,000	
消耗什器備品費	0	0	156,000	0	156,000	0	156,000	
消耗品費	0	0	338,000	0	338,000	0	338,000	
修繕費	0	0	104,000	0	104,000	0	104,000	
印刷製本費	0	0	45,000	0	45,000	0	45,000	
被服費	0	0	218,000	0	218,000	0	218,000	
賃借料	0	0	857,000	0	857,000	0	857,000	
保険料	0	0	88,000	0	88,000	0	88,000	
光熱水費	0	0	74,000	0	74,000	0	74,000	
委託費	0	0	2,592,000	0	2,592,000	0	2,592,000	
会議費	0	0	6,000	0	6,000	0	6,000	
支払手数料	0	0	253,000	0	253,000	0	253,000	
支払負担金	0	0	48,000	0	48,000	0	48,000	
諸謝金	0	0	158,000	0	158,000	0	158,000	
租税公課	0	0	6,181,000	0	6,181,000	0	6,181,000	
雑費	0	0	193,000	0	193,000	0	193,000	

(単位:円)

# 収支予算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科 目	実施事業等会計		その他会計			法人会計	内部取引控除	合 計
	他1(受託事業)	他2(収益事業)	共通		小 計			
管理費	0	0	0	0	0	1,727,000	0	1,727,000
役員報酬	0	0	0	0	0	271,000	0	271,000
職員給料	0	0	0	0	0	363,000	0	363,000
諸手当	0	0	0	0	0	227,000	0	227,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	456,000	0	456,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	138,000	0	138,000
旅費研修費	0	0	0	0	0	4,000	0	4,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	15,000	0	15,000
会議費	0	0	0	0	0	2,000	0	2,000
減価償却費	0	0	0	0	0	54,000	0	54,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	3,000	0	3,000
消耗品費	0	0	0	0	0	22,000	0	22,000
被服費	0	0	0	0	0	2,000	0	2,000
修繕費	0	0	0	0	0	2,000	0	2,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	4,000	0	4,000
光熱水費	0	0	0	0	0	19,000	0	19,000
賃借料	0	0	0	0	0	48,000	0	48,000
保険料	0	0	0	0	0	7,000	0	7,000
諸謝金	0	0	0	0	0	40,000	0	40,000
租税公課	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000
支払負担金	0	0	0	0	0	9,000	0	9,000
支払手数料	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000
委託費	0	0	0	0	0	38,000	0	38,000
雑費	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000
経常費用計	5,379,000	176,573,000	163,079,000	0	0	1,727,000	0	346,758,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-4,744,000	3,822,000	6,984,000	0	0	-1,341,000	0	4,721,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-4,744,000	3,822,000	6,984,000	0	0	-1,341,000	0	4,721,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計								
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額								

(単位:円)

# 収支予算書内訳表

令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その他会計			法人会計	内部取引控除	合 計
		他1(受託事業)	他2(収益事業)	共通			
他会計振替額	4,744,000	-3,822,000	-2,263,000	0	1,341,000	0	0
その他会計他1振替額	2,481,000	0	0	0	1,341,000	0	3,822,000
その他会計他2振替額	2,263,000	0	0	0	0	0	2,263,000
実施事業等会計振替額	0	-2,481,000	-2,263,000	0	0	0	-4,744,000
法人会計振替額	0	-1,341,000	0	0	0	0	-1,341,000
法人税等	0	0	0	0	0	0	0
その他会計他1法人税	0	0	0	0	0	0	0
その他会計他2法人税	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	4,721,000	0	0	0	4,721,000
一般正味財産期首残高	5,049,588	16,331,567	70,791,997	0	20,024,595	-8,603,000	103,594,747
一般正味財産期末残高	5,049,588	16,331,567	75,512,997	0	20,024,595	-8,603,000	108,315,747
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 基金増減の部							
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	5,049,588	16,331,567	75,512,997	0	20,024,595	-8,603,000	108,315,747